

JBA バイオリーダーズ研修2025

～ オープンイノベーション時代の事業化企画研修 ～

募集要項

JBA 一般財団法人バイオインダストリー協会



JBA バイオリーダーズ研修2025 開催概要、募集要項

➔ 開催日時、 場所

日時： 2025年7月16日（水）～7月18日（金）
場所： セミナーハウス クロス・ウェーブ幕張(千葉県・千葉市)

➔ 募集人数

30人

➔ 募集対象

- JBA法人会員でバイオの研究開発に携わる人材
- 年齢は**30歳前後**
- 新型コロナ対策として事前の抗原検査などへのご協力をお願いする可能性があります（JBA手配）

➔ 参加費

17万8千円（税込）／人

（注）研修中の食事・宿泊料込。開催地までの交通費は自己負担。

➔ 募集期限

2025年4月21日（月）

*) 参加希望人数だけを先に事務局にご連絡いただければ、枠を確保することが可能です。
詳細は事務局までお問い合わせください。

*) 万一、新型コロナ等の影響で研修の開催が困難になった場合や事前の検査で参加できなくなった場合は、キャンセル料はいただきません。

➔ 問い合わせ、 申込先

一般財団法人バイオインダストリー協会
バイオリーダーズ研修事務局

担当：村山、成田（bioleaders@jba.or.jp） TEL : 03-6665-7930

新型コロナ対策

新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが2023年5月8日から季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げられましたが、宿泊を伴い多くの議論を交わす研修の特徴に鑑み、一定程度の感染対策を継続します。ご理解・ご協力お願い申し上げます。

→ 事前の対策

- ・研修開始直前に抗原検査を実施頂き、陰性確認を参加条件といたします。
(詳細は事務局よりご案内します)

→ 研修会場での対策

- ・以下の対策を講じ、ご参加の皆さんの安全を確保します。
「研修会場到着時の検温」
「十分なスペース確保（広いホールにて収容人数の1/4程度で研修を行います）」
「入退出時の手指消毒」「研修時間内のマスク着用」「会場での定期的な換気の実施」
など。

研修のねらい、育成項目

→ 研修のねらい

オープンイノベーションの有用性が広く認められるようになったことから、外部技術を適正に評価し、外部機関と連携して研究開発を進めることのできる人材が求められています。本研修ではそのような認識の下、グループワークを通して、技術シーズから新事業を創造する体験を提供します。また、異業種人材が集まる本研修で築かれるネットワークは、今後の貴重な資産になります。

→ 育成項目

専門スキル

- ・ バイオ技術の応用可能性評価
- ・ 知財戦略
- ・ マーケティング戦略
- ・ 事業収支予測 等

ソフトスキル（ヒューマンスキル）

- ・ コミュニケーション力
- ・ リーダーシップ
- ・ 課題発見・解決力
- ・アントレプレナーシップ 等

参加者の声

- ・ 特許の実例を用いながら実践的な中・長期的事業計画書立案の経験を通じて、イノベーションが生まれる感覚、企画力の向上を実感できた。
- ・ 市場動向やニーズ、採算性、知財に関する調査検討の重要性と難しさを実体験できた。
- ・ 異業種の多様な専門性の方々とのチームワークで視野が広がり、今後につながる人脈も形成できた。
- ・ 企業トップがどのようなマインドで経営に臨まれているのか、新事業創出に関する仕組みづくり等、非常に引き込まれ勉強になった。

プログラム

1. 事業化企画演習

グループワーク：5～6名×6チームに分かれ、与えられた技術シーズに基づき事業計画を作成。

表彰：審査員による評価 ⇒ 優秀チームを表彰。

教材：国内アカデミアから出願された特許案件から教材を設定。

技術分野は① 医薬・医療、② 化学/バイオものづくり、③ 農業/食品分野。

チーフ・ファシリテーター：松本 正 氏
(株式会社 レクメド 代表取締役社長)



グループワーク風景

2. 企業トップの講演

山口 登造 氏 (住友化学株式会社 専務執行役員 技術・研究企画部、DX推進室、知的財産部、コーポレート研究所 統括)

沼田 圭司 氏 (Symbiobe株式会社 創業者 取締役CTO)

JBA バイオリーダーズ研修2025 カリキュラム

開催前	<ul style="list-style-type: none">◆ 事前学習（会社設立、特許の基礎知識など）◆ グループワーク課題の提示◆ メーリングリストによる自己紹介、グループ分け◆ グループ毎に事業化の事前検討（Teams活用）
1日目 (7/16)	<ul style="list-style-type: none">↓ オリエンテーション↓ グループワーク（事業方向性の決定）↓ 企業トップレクチャー： 山口 登造 氏（住友化学株式会社 <u>専務執行役CTO*</u>） *：2025年4月より 沼田 圭司 氏（Symbiobe株式会社 創業者 取締役CTO）
2日目 (7/17)	<ul style="list-style-type: none">↓ グループワーク（中間発表資料の作成）↓ 中間発表、講評↓ グループワーク（方向修正、最終発表資料の作成） ※ 深夜まで続くことがあります
3日目 (7/18)	<ul style="list-style-type: none">↓ 最終発表会（web+リアル）↓ 講評、表彰

参考) 最近の参加者の所属企業

旭化成ファーマ（株）、アサヒクオリティードイノベーションズ（株）、AGC（株）、味の素（株）、アステラス製薬（株）、エーザイ（株）、江崎グリコ（株）、（株）カイオム・バイオサイエンス、花王（株）、（株）カネカ、協和キリン（株）、キリンホールディングス（株）、合同酒精（株）、サッポロビール（株）、サントリーグローバルイノベーションセンター（株）、塩野義製薬（株）、住友化学（株）、住友ファーマ（株）、第一三共（株）、第一三共ヘルスケア（株）、太陽ファルマテック（株）、高砂香料工業（株）、タカラバイオ（株）、田辺三菱製薬（株）、中外製薬（株）、帝人ファーマ（株）、日清食品ホールディングス（株）、浜松ホトニクス（株）、富士フィルム（株）、三菱ケミカル（株）

(50音順)